

5. 活動テーマ別実績書（テーマ：健康）

活動名	地域課題	活動目的	活動概要	実施時の課題	成果確認指標 (目標数値/実績数値)
ウォーキングで 健康づくり 11.18 11.25 12.2	・健康づくりとしての活動 が少ない	・健康づくりの第一歩 としてウォーキングを 推進した	・ノルディックウオー ク教室を市と調整して 3回実施した	・目的と効果を知り、 着実に実施する	参加者 100人 / 43人
ふれあい 歩こう会 4.11 8.29 11.28	・健康づくりとしての活動 が少ない	・歩くことによって、 ふれあいと、健康づく りをした	・春・秋に鐘ヶ坂公園 まで行った ・夏は小南山に登った	・行くだけでなく、目 的地での事業(イベント) を工夫すれば、きめ細 かなふれあいの場と なる	参加者 各70人 / 春54人 夏18人 秋 63人 計135人
ラジオ体操 月1回の日曜日	・規則正しい生活の乱 れがある ・健康意識不足である ・住民交流不足である	・規則正しい生活を送 ることで、健康づくり の一役とした ・交流の場とした	・各自治会単位で実施 した ・健康づくりと住民交 流の場となった	・現在より多くの自治 会、団体が行えるよう 工夫をする ・増進賞は継続する	参加場所 1日150人 /9自治会 91日 延1,249人 出席日数による増進賞 72人(認定110人)
ふれあい交流会 (世代間での 交流スポーツ) 10月11日 12日	・体を動かすことが少 ない ・住民間のつながりが 少ない	・異年齢間交流をした ・運動習慣を身に付け た ・地域の人と話をする 機会を作った	・世代間でのスポーツ を通じてふれあい活動 を深めた	・指導担当の各団体の 活性化に寄与できる ・団体に呼び掛けが効 果的 注) 28年度は実施なし	参加者 80人 ・グラウンドゴルフ、ペタンク / 58人 ・囲碁ボール、クォーターテニス / 62人
スポーツを楽しむ 環境づくりを作る 年間	・多様な仕掛けづくりに 苦労がある	・地域ごとの運動の集 いに支援をめざした	・用具等の整備費用を 支援する	注) 28年度は実施な し	5自治会 / 0
健康講座の開催 年間	・健康に関する知識、 意識不足と健康への実 践力の不足	・丹波市と調整し、健 康に関する知識、意識 の向上を目指した ・気軽に多くの住民が 集う機会を目指した	・食とAEDを含む健康教 室での用具材料費用を 支援した	注) 28年度は実施な し	17自治会 / 1自治会

(注意) 活動名の欄に開催実施月日を記入した。

活動概要は、具体の取り組み内容がわかるよう記入した。

成果確認指標(目標数値/実績数値)は、活動の成果が数字で客観的に判断できるよう設定した確認方法と目標及び実績数値を記入した。

6. 活動テーマ別計画書 (テーマ：環 境)

活動名	地域課題	活動目的	活動概要	実施時の課題	成果確認指標 (目標数値/実績数値)
ごみが日本一 少ない町に ・5月から翌2月 ・11月8日 (一斉時)	・河川内は清掃が手薄である	・ゴミ拾いボランティアの活動を期待した	・柏原川の清掃活動を行った	・手軽に実施できる環境づくりが必要	実施者 10人 / 12人、20人
	・自治会で実施できていない区域がある	・草刈ボランティアの活動を期待した	・柏原川の草刈活動を行った	・慣れない者への対策が必要	実施者 20人 / 2回 25人
美しくして、楽しい 生活を目指す 6月～翌年3月	・住民のふれあいの場、機会が少ない	・既存ガーデンでの花、木の植え替えや手入を行う団体づくりを呼びかけた	・空地のある自治会等でふれあいの場を作った	・美化範囲を拡大する	実施場所 9箇所 / 10箇所
美しい地域づくり 里山道整備支援 6月～翌年3月	・住民のふれあいの場、機会が少ない ・気軽に散策、登れる道が必要である	・現存の里山道の新設、整備を行う団体づくりを呼びかけた	・身近で簡単に歩ける里山道に補修、整備した	・休日ごとの作業につき時間を要するが、それぞれの団体の熱意を感じた	実施場所 3箇所 / 3箇所
美しくして、楽しい 生活を目指す	・犬を散歩させるにマナーが悪く、道路、広場が汚れている	・犬、猫を飼う人のマナーの啓発を促した	・看板以外の方法で啓発した	・市が行った狂犬病予防注射時に、チラシを配布するよう依頼した	
地域コミュニティの 活性化 夏まつり 8月13日を14日に順延	・家族、近所、知人友がふれあえる機会を少ない	・予定される盆の時期におどりに参加し、住民間の一体感ができた ・世代間の交流ができた	・参加しやすい環境づくりに近づいた ・住民が主体となる環境づくりであった	・継続のある出し物が必要 ・より多くの自治会や団体に、おどり連編成を依頼する	参加者 2,500人 / 計測せず

<p>地域コミュニティの活性化 “ふれあい音楽のつどい” 11月1日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住民間のつながりが少ない ・憩いの場を作る 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民間のふれあいの機会を作り、音楽によってリフレッシュを図ることができた 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生、大人の吹奏楽を聴けた ・会館利用者などの発表の機会を提供し喜ばれた 	<ul style="list-style-type: none"> ・出演団体との調整を密にする ・イベント時間が長いと思われる 	<p>参加者数 出演団体 約8団体 観衆 (350人) /出演団体 9団体 観衆 335人</p>
<p>地域コミュニティの活性化 まちかどウォークラリー 5月10日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住民間のつながりが少ない ・住んでいる地域の様子が分からない 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人と話をする機会をつくる ・住んでいる地域を見直す 	<ul style="list-style-type: none"> ・設定した場所を探し、それぞれの意義を現場解決型のクイズ方式で実施した ・参加者が葉手紙を作成した 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たなポイントを発掘する ・再度参加を促す工夫をする ・葉手紙作成にPRをする 	<p>参加者数 70人 / 64人</p> <p>葉手紙作成者 2人</p>
<p>地域コミュニティの活性化 新春マラソン 1月2日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族、校区住民交流の不足 ・健康に対する意思づけを行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい作りと健康づくりの、1年間の実践のスタートとできた ・例年になく多くの参加者であった 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会館をスタートし、街中の約2kmを走った ・イベント後にうどんのサービスをした 	<ul style="list-style-type: none"> ・長くなる隊列に配慮した安全体制の看板の設置 ・うどん提供は体育振興会 	<p>参加者数 200人 / 197人</p>
<p>地域コミュニティの活性化 おもしろギネス大会 (スポーツ21共催) 11月7日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かすことが少ない ・住民間のつながりが少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢間交流 ・運動習慣を身に付けることを狙いとした ・地域の人と話をする機会であった 	<ul style="list-style-type: none"> ・8種類の軽スポーツ、ゲームなどに挑戦した 	<ul style="list-style-type: none"> ・成績の集計方法をさらに工夫をすると、その日に記録紙が渡せる 	<p>参加者数 60人 / 48人</p>
<p>地域コミュニティの活性化 自治会活動支援事業 6月～翌年3月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住民間のつながりが少ない ・憩いの場を作る 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民間のふれあいの機会を作り、文化的学習の意識を高める機会づくりができた 	<ul style="list-style-type: none"> ・隣接する自治会での活動を行い、住民間のつながりを育む活動となった 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの団体での地域づくりを呼び掛ける 	<p>実施数 3団体 / 3団体</p>

<p>地域コミュニティの 活性化 自然を大切に 6月13日 観賞会 8月12日(調整) 中止</p>	<p>・自然を大切にする意 識を啓発する</p>	<p>・柏原川にホタルが乱 舞できる環境を整備す ることが最終目標 ・安らぎの機会づくり を作れた</p>	<p>・ホタル観賞会を行い、 環境とのつながりを知 る ・ホタルに関する勉強 会は中止した</p>	<p>・静かな音楽を流すほ か、オカリナ同好会の 協力を受ける ・時期を早める ・ホタルの生育環境を 学ぶ</p>	<p>参加者数 20人 / 約100人 参加者数 中止</p>
<p>扶助精神の実践 6月～翌年3月</p>	<p>・ボランティア活動団 体の組織、活動支援 ・高齢者の安全安心の 確保</p>	<p>・活動しているボラン ティア団体を支援した ・ボランティア活動内 容の充実に協力した</p>	<p>・材料費の支援をした ・高齢者に対するボラ ンティア活動内容を検 討する機会を作った</p>	<p>・活動内容を紹介し、 増員継続の呼びかけを する</p>	<p>対象 10団体 / 8団体</p>
<p>扶助精神の実践 2月26日 3月4日</p>	<p>・高齢者、一人暮らしな ど、生活に不安があると 思われる方今後多くなる</p>	<p>・地域内福祉活動の推進 をした</p>	<p>・研修の実施 高齢者の生活につい て学習をした ・[高齢者の集い]に協力 した</p>	<p>・外部講師を招く ・高齢者の集いに協力す る</p>	<p>対象 70人 / 39人</p>
<p>交通安全意識の向上 年間</p>	<p>・悲惨な生活にならない ように、住民が交通 事故に合わないよう、 また、起こさないよう にする</p>	<p>・町ぐるみで交通安全 の強化に取り組み、安 全で楽しい生活を目標 とした</p>	<p>・交通事故「0の日」 の設定は出来なかった ・広報紙を発行して、 交通マナーの向上を啓 発した</p>	<p>・広報紙を活用して、 向上を図る</p>	
<p>災害、防犯に 備えよう 年間 広報特集号3月発行</p>	<p>・災害からの被害を最 小限度にして生活の基 盤を安定させる</p>	<p>・わが街の点検をして、 災害、防犯に強いまち づくりを図るために広報 をした</p>	<p>・地域にあった防災教 育、防災活動、避難訓 練、安全パトロールをした ・子どもの安全を守る ために広報紙で促した</p>	<p>・自治会に呼びかける ・広報紙を活用して、 向上を図る</p>	

災害、防犯に 備えよう 年間	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の一時避難場所として、周辺住民の不安を解消する 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に強い鉄筋造高所建物を活用するため施設環境を整備した 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難場所として非常食ほか必要な用具の整備をした 	<ul style="list-style-type: none"> ・非常食ほか必要な用具の管理（数、期限等）が必要である 	最大収容人数 200人
防犯に強い まちづくりを図る 年間	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に不安材料がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域見回り活動を目的とした活動を継続している 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域見回り協力者の増強を促した ・子ども 110 番の旗を設置した 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会を通じて、協力者を募集する。 ・他団体事業との調整を密にする 	協力者の拡充 30人 / 0人 巡回記録表の回収 20人 / 2人
自治会活動支援 年間 (防犯灯維持費) (自治会保険料負担)	<ul style="list-style-type: none"> ・医療体制の維持充実に地域としての支援が求められている ・自治協議会事業に参加が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・県立柏原病院の通勤者等の安全を確保のために協力した ・自治協議会事業に参加の促進のために保険料の軽減を図った 	<ul style="list-style-type: none"> ・県立柏原病院までの道路に設置した外灯のLED化と電気代負担を継続している ・自治会活動の安全性と、参加促進を図った 	<ul style="list-style-type: none"> ・事案発生時の連絡を密にする 	5基分の取替と電気代を負担する / 完了 64,800円 事案発生 4件

(注意) 活動名の欄に開催実施月日を記入した。

活動概要は、具体の取り組み内容がわかるよう記入した。

成果確認指標（目標数値/実績数値）は、活動の成果が数字で客観的に判断できるよう設定した確認方法と目標及び実績数値を記入した。

7. 活動テーマ別計画書（テーマ：教育）

活動名	地域課題	活動目的	活動概要	実施時の課題	成果確認指標 (目標数値／実績数値)
あいさつ運動 年間	・あいさつのないまちでは、明るく安全な町づくりができない	・あいさつ、笑顔により、好感がもてて、さわやかな町を目指した	・啓発用旗の破損が多くなったので、臨時に更新した	・旗の管理の徹底	管理数 170本 更新数 0 / 120本
地域で子どもを 育てる 7月～8月・5日間	・他人を思いやる心がない児童がいる ・地域の人と話をする機会が少ない	・やさしさを育む児童を育てることを行った ・テーマに添った地域の人のお話を聞く機会ができた	・水をテーマとして学び、発表することで、協同作業と、思いやる心の育成を目指した	・バスを有効に活用する ・今後も地域の人と打合せを十分に行う	参加者数 80人 / 90人 5日間延 260人
地域で子どもを 育てる 7月～8月 6日間	・地域での子どもとのふれあいの機会を作る	・夏休みや、土曜日における、子どもの学習の手助けをした	・宿題、自由勉強の指導を、教師経験者が行った	・指導者の確認は、自治会の協力が必要 ・参加の推進は、保護者の理解が必要	参加者数 30人 / 6日間 41人
地域で子どもを 育てる 8月～11月 5日間	・文化や地域の歴史を学ぶ機会が少ない	・平成たんば塾・土曜チャレンジ学習を行うために、地域の活動団体の協力を得て行った	・地域の昔話を聴いた ・茶華道の体験をした ・歴史の学習をした	・参加の推進は、保護者の理解が必要 ・子どもの対応を学習する	参加者数 50人 / 6日間 64人
伝統文化の継承活動 (織田まつり) 10月12日	・日本文化の良さと、次世代につなぐ必要性がある	・現在の事業を推進し、先人からの伝統を維持、継承するに必要な対策を行った	・武者行列の貸衣装代を負担した ・広報を行った	・実行委員会との調整を密にする	まつり見学者 計測せず

<p>地域学習 日本文化の 教室開催 6日間</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・この地にすみ、伝統ある日本文化に接する機会が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本文化を大切にしてい承をする習慣を身に着けることを目指した 	<ul style="list-style-type: none"> ・茶華道体験コースを進めた 	<ul style="list-style-type: none"> ・茶華道連盟との調整を図る ・各活動団体に参加を呼び掛ける 	<p>茶華道参加者 延べ100人 / 延べ50人</p>
<p>地域学習 歴史探訪 8月13・14日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・柏原の歴史を十分理解できていないことに不安がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の住む町の歴史を知り、生活に役立ったと推測した 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光ガイドの協力で、近世の歴史を浅く学べたと推測した 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史クラブ、観光ガイド等の協力を得る 	<p>参加者数 延べ100人 / 延べ2人</p>
<p>宇陀市(大宇陀) 交流会 8月25日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・柏原と深い関係のある宇陀市との交流を推進する 	<ul style="list-style-type: none"> ・宇陀市での文化、歴史について学習を行った 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者を募り現地で交流を行った 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史だけでなく、各方面での交流があればよいが 	<p>参加者数 40人 / 35人</p>
<p>情報発信 ・広報紙発行 7月/2月/特集号 ・ホームページ、フェイスブックの活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会の行事を知らせた ・団体の行事は掲載できなかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体の情報を発信することで、住民の活動領域を広げられたと推測する 	<ul style="list-style-type: none"> ・時機を失しないように発行する ・わかりやすく、見やすく、読んでいただく内容とする 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙年間 3回 / 定期発行 2回と特集号 ・事業チラシ 随時発行 13号 ・ホームページの更新は随時

(注意) 活動名の欄に開催実施月日を記入した。

活動概要は、具体の取り組み内容がわかるよう記入した。

成果確認指標(目標数値/実績数値)は、活動の成果が数字で客観的に判断できるよう設定した確認方法と目標及び実績数値を記入した。

8. 活動テーマ別計画書（テーマ：地域活動）

活動名	地域課題	活動目的	活動概要	実施時の課題	成果確認指標 (目標数値/実績数値)
地域活動推進	・多くの人とのふれあいの機会をつくること が、地域の活性化につながる	・多くの人が集まる機会を主催する団体の運営を支援し、効果的な地域づくりを行う	・さくらまつり、もみじまつり、厄除け大祭の運営費を支援する	・	3まつり / 3まつり
地域づくり計画策定 9月28日から6回	・平成28年からの計画を作成する	・地域の課題を解決するために、策定委員会を設置した	・策定委員会で協議し、理事会と調整を図りながら、当面の計画を策定し、理事会で承認がされた	・平成28年度からの計画を中心にしたので、新年度からさらに詳細な計画が必要である	新地域づくり計画は、3月24日の第9回理事会で承認
施設充実推進	・活動拠点の老朽化に対応することと、使いやすい施設に改善をする	・活動拠点の老朽化による雨漏りの対策と、若い世代の利用者の拡大を図るために行った	・外壁塗装の補修、窓枠の補修工事、及びインターネットの無線化による部品を購入した	・屋上を含む壁体塗装は、西側のみであったが、新年度では屋上の残る範囲を実施する必要がある	壁体塗装は、屋上を含む西側のみ

(注意) 活動名の欄に開催実施月日を記入した。

活動概要は、具体の取り組み内容がわかるよう記入した。

成果確認指標（目標数値/実績数値）は、活動の成果が数字で客観的に判断できるよう設定した確認方法と目標及び実績数値を記入した。